

歯科再生医療研究会 Web講演会

リグロス®が切り拓く歯科再生医療の可能性を探る

本研究会では、リグロス®使用時における注意点やご専門の先生方の使用経験から得られた要所をご発表頂きます。

日時

2020年10月25日(日) 13:00~

開催方法

「ZOOM」を利用致します。

参加費

10,000円(消費税を含む)

申込方法

研究会参加のお申込方法等の詳細につきましては、

<https://periofgf.jp/>

にアクセスしてお手続きください。



申込締切: 2020年10月18日(日)



和泉 雄一 先生



村上 伸也 先生



小方 頼昌 先生



齋藤 淳 先生



武田 朋子 先生



根本 康子 先生



片山 明彦 先生



二階堂 雅彦 先生

13:00~13:10

開会のご挨拶

大阪大学大学院歯学研究科 歯周病分子病態学 教授 村上 伸也 先生

座長		東京医科歯科大学 名誉教授 和泉 雄一 先生
第一幕	13:10~ 13:40	演題1 「歯周組織再生剤リグロス®の臨床的意義を再考する」 講師 大阪大学大学院歯学研究科 歯周病分子病態学 教授 村上 伸也 先生
	13:40~ 14:10	演題2 「リグロス®を用いた歯周組織再生療法」 講師 日本大学松戸歯学部 歯周治療学講座 教授 小方 頼昌 先生
	14:10~ 14:40	演題3 「リグロス®と骨補填材を併用した歯周組織再生療法の臨床効果」 講師 東京歯科大学 歯周病学講座 教授 齋藤 淳 先生

14:40~15:00

質疑応答

15:00~15:10

休憩

座長		ともこデンタルクリニック 院長 武田 朋子 先生
第二幕	15:10~ 15:40	演題4 「歯槽堤増大の治療戦略」 講師 表参道デンタルオフィス 院長 根本 康子 先生
	15:40~ 16:10	演題5 「Soft tissue stabilityを考慮した歯周組織再生療法」 講師 医療法人社団明佳会 有楽町デンタルオフィス 理事長 片山 明彦 先生
	16:10~ 16:40	演題6 「歯周組織再生療法におけるリグロス®の役割」 講師 二階堂歯科医院 院長 二階堂 雅彦 先生

16:40~17:00

質疑応答

17:00~17:10

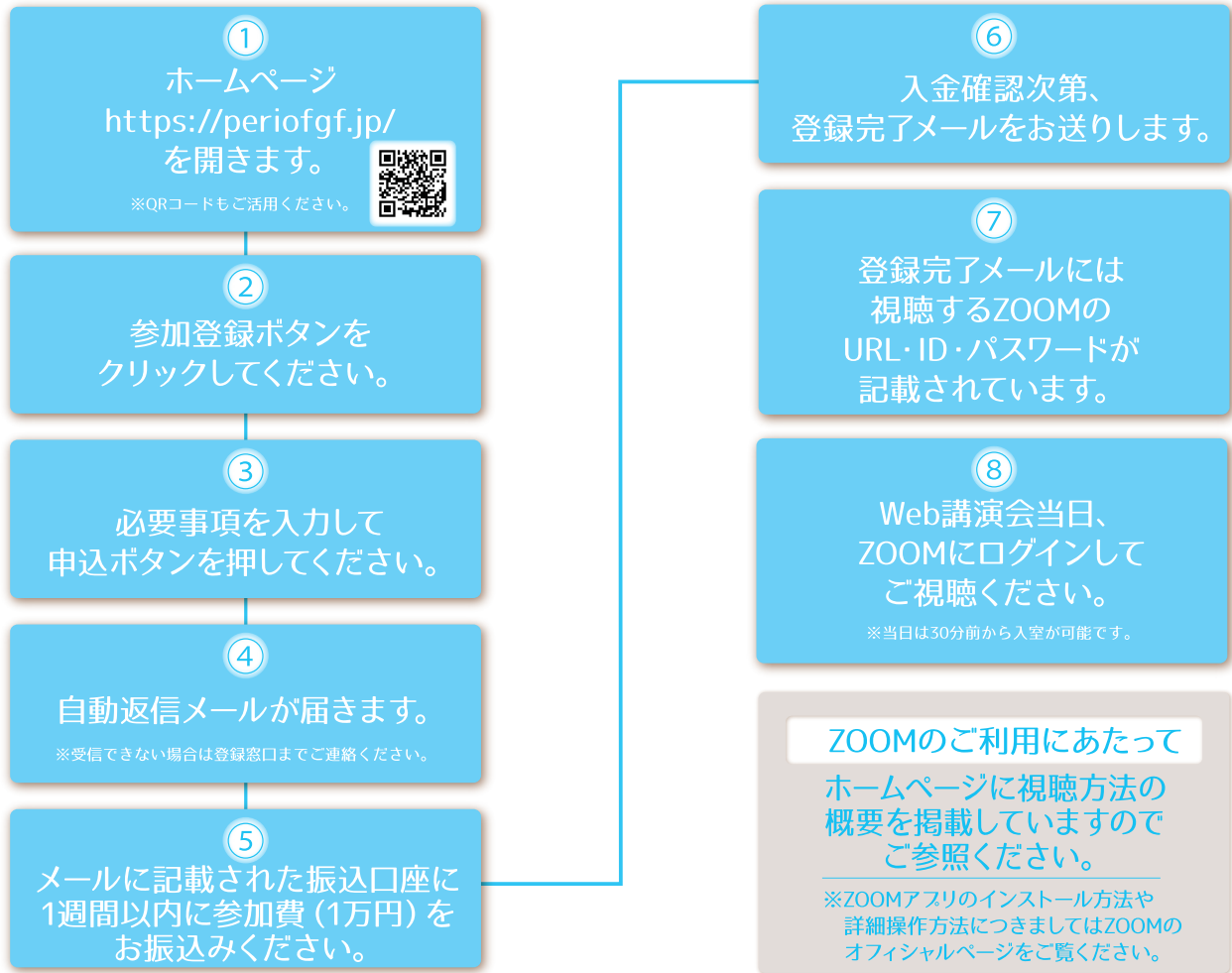
閉会のご挨拶

大阪大学大学院歯学研究科 歯周病分子病態学 教授 村上 伸也 先生

弊社では、新型コロナウイルス感染症が終息に至っていない状況を踏まえ、弊社関連セミナーに関しましては、皆様の健康・安全を最優先に考え、Webによるセミナーの充実を図って参ります。

詳細につきましては、弊社ホームページ等にて順次ご案内して参りますので、何卒ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

視聴までの流れ



リグロスのご購入・ご使用を希望される先生方へ 「リグロスe-learning」の受講はこちら



<http://regroth.jp>

薬価基準収載

歯周組織再生剤
リグロス® 歯科用液キット 600 μ g/1200 μ g
REGROTH Dental Kit 600 μ g/1200 μ g トラフェルミン (遺伝子組換え) 製剤
処方箋医薬品 (注意-医師等の処方箋により使用すること)

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 口腔内に悪性腫瘍のある患者又はその既往歴のある患者
[本剤が細胞増殖促進作用を有するため]

【効能・効果】 歯周炎による歯槽骨の欠損

〈効能・効果に関連する使用上の注意〉

1. 本剤は、歯周ポケットの深さが4mm以上、骨欠損の深さが3mm以上の垂直性骨欠損がある場合に使用すること。
2. 本剤は、インプラント治療に関する有効性及び安全性は確立していない。

【用法・用量】 歯肉剥離掻爬手術時に歯槽骨欠損部を満たす量を塗布する。

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

本剤の使用にあたっては【臨床成績】の項を参照し適切な量を用いること。

【承認条件】 医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。

【使用上の注意】<抜粋>

1. 重要な基本的注意

- (1) 本剤は歯周外科手術の経験のある歯科医師又は医師が使用すること。
- (2) 術後に歯肉弁の著しい陥凹を生じると予想される骨欠損部位に対しては、他の適切な治療法を考慮すること。

2. 副作用

本剤が投与された安全性評価対象症例429例中3例(0.7%)に副作用が認められた。その内訳は、適用部位における歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹および頭痛が各1例(0.2%)であった。臨床検査値異常は429例中51例(11.9%)に認められ、その主なものは尿中アルブミン陽性27例(6.3%)、尿中 β_2 ミクログロブリン上昇17例(4.0%)、尿中NAG上昇16例(3.7%)、CRP上昇6例(1.4%)等であった。(承認時)

分類	頻度	1%以上	1%未満
適用部位			歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹
精神神経系			頭痛
臨床検査	尿中アルブミン陽性、尿中 β_2 ミクログロブリン上昇、尿中NAG上昇、CRP上昇		AST(GOT)上昇、ビリルビン上昇、CK(CPK)上昇、ALT(GPT)上昇、LDH上昇、尿糖陽性、リンパ球増多、好中球減少、単球増多、白血球減少、総蛋白上昇

●その他の使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

2017年12月改訂(第4版)

製造販売元
〔資料請求先〕



科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込2丁目28-8

医薬品情報サービス室